

# 戸山

新宿区立戸山小学校

## 鍛 練

校長 百合野 壽郎

令和6年になってから、もうひと月が過ぎてしまいました。時のすぎるのは本当に速いもので、ポーっとしていると、ただ日々を過ごすだけになってしまいます。急かしたり慌てさせることはありませんが、子ども達が自分で考えて、目的をもって生活することの大事さを教えることも、教育の大切な役目です。

とは言っても、何かと理由をつけて、つついさぼりたくなるのも人情です。目的に向かって、周りがいくら言っても、継続して一つのことに取り組んでいくことは、学問であってもスポーツであってもそして、何歳になっても難しいものです。そこをどう克服するのかが、自分の夢を叶えることや目標達成の大きな鍵となってきました。

江戸時代初期の剣豪「宮本武蔵」(と言っても今どきの子ども達は、ほとんど知らないかもしれませんが…)が剣の道を究めるために、日夜修行を重ね、「千日の稽古をもって鍛となし、万日の稽古をもって錬となす」という言葉を残しています。

意味は千日続けて稽古をすることで初めて「鍛えている」と言え、一万日稽古することで、初めてその技を練られるという意味です。いわゆる「鍛練(錬)」のもとになった言葉です。

厳しい訓練や修養を積んではじめて、技芸や心身を強く鍛えることができるようになることを伝えています。千日というとおよそ3年、一万日というとおよそ30年にあたります。

ここで大切なのは期間の長さではありません。ようするに何かを為そうとするには、それに必要な継続する力(心)が大事だということです。何事も簡単にできることなどありません。「こんなこと簡単・簡単」などと言っている人は、実はまだまだ伸びる力があるのに、今の自分ができるレベルで止めてしまっているかもしれません。今の自分に満足し、向上心を止めてしまった人に、進歩はありません。

さて、戸山小の児童の皆さんは、何か継続して取り組んでいることはありますか？学習でもスポーツでも芸術でも構いません。お家のお手伝いを続けることも素晴らしいと思います。自分の決めたことを極めようと頑張っている人！カッコいいなあ。校長先生はそんな戸山小学校の皆さんを応援しています。

ファイト！！

今、戸山小学校では校内体制の厳しい中、子ども達も教職員も一丸となって戸山小学校が楽しい学校であるように、頑張っています。保護者・地域の皆様方の心温まる応援を何よりの喜びとして、取り組んでいます。ありがとうございます。

春が一日も早く来ることを願って…。

## 校内研究

研究主任

本校は3年間、東京都の授業改善推進拠点校として、国語科を中心に研究を進めてきました。国と都の調査の結果の分析から、今年度の児童には①児童がすすんで自己解決しようとする学習方法を構築すること②どの児童も45分間集中し、思いや考えをもち表現することにつながる授業づくりが必要である、と確認し、授業改善に取り組みました。具体的な例としては児童の意見から学習計画を立てる、意図的な話し合い活動や振り返りの時間をもつ等があります。この研究を通して、私たち教員側が、授業の中で取り組むべき手立てを学ぶことができました。12月には都庁で、また1月25日には近隣校の先生方に向けて研究報告をしたところです。今後も児童の課題解決につながるような授業改善に取り組んでまいります。

## とやままつり

特別活動主任

今年も戸山まつり実行委員の皆さんとPTAの方々にご尽力いただきまして、安全で楽しい戸山まつりを開催することができました。体育館でも、幼稚園ホールでも校庭でも、子ども達の満面の笑顔が見られました。工夫を凝らしたゲームや、うれしい賞品、景品の数々が、戸山サンタから子ども達へのクリスマスプレゼントのようでした。子ども達にとって、すてきな思い出となったことと思います。ありがとうございました。

## 学年の窓 5年

5年担任

3学期を迎え、子ども達には、この3か月間は最高学年への準備期間であることを話しました。話を聞く眼差しは以前に比べ真剣で、実感が湧いてきていることを感じました。今年度はコロナ禍にはなかなか行うことのできなかつた、他学年との活動にも取り組むことができ、その中で6年生への憧れの気持ちをもつ機会もできたようでした。

2学期に行ったAOTでは、学年みんなで力を合わせ、素晴らしい発表にすることができました。一人一人が大きなパワーをもっている5年生。3学期はふれあい班活動の引き継ぎや6年生を送り出すための取り組みなどにも取り組んでいきます。5年生のパワーを遺憾なく発揮できるよう、引き続き指導をしていきます。